

平成 28 年 3 月総務企画委員会 議事概要

H28.3.23 作成

日 時：平成 28 年 3 月 15 日（火） 18:00～19:20

会 場：建築士会 会議室

出席者：(担当副会長) 長田 喜樹

(委員長) 芝 京子 (副委員長) 山成 芳直

(委員) 天神 正志、伊藤 誠一、加藤 清、玉野 直美、沼田 有二、村島 正章

(事務局) 須藤専務理事

<確認事項>

1 前回 (2/16) 議事録の確認【資料 1】

メーリングリストで事前送付済みの原案が承認された。

<協議事項>

1 平成 28 年度予算について【資料 2】

- ・専務理事より、前回委員会での指摘を踏まえた H27 年度決算見込み・H28 年度予算案を説明。
また、重点事業（シニア活用事業、相談事業）のための経費を追加計上した旨の説明。

(質疑)

(専務) ・講習会等の参加費の考え方（受益者負担や会員内外の価格差を原則とすべきか）について各委員会からの回答が出揃ったが、原則どおりに設定するのは難しそうだ。

(副委員長) ・たしかに見学会はバス借上代が大きなウェイトを占めるため悩ましいところ。

(副会長) ・経常外支出の内訳は？

(専務) ・退職手当引当金のほか、H30 年度に関プロ管内で開かれる全国大会のためのブロック構成会負担金と H29 年度に神奈川で開かれる関プロ青年協大会のための積立金。
・予算案としては、公益事業・収益事業・共益事業の部門別収支表も作成しなければならないが、H27 年度予算案では収益事業部門で赤字を計上せざるを得なかった。部門別人件費等の配賦比率の設定結果によるものだが、見栄えはよろしくない。H28 年度予算では何らかの調整を加えて黒字となるようにすべきか？

(副会長) ・配賦比率を毎年いじるのは財務規律上好ましくない。とりあえず赤字が出ても比率は固定しておき、今後、明らかな不合理が認められたら見直すことでどうか。

- ・その他特段の異議なく予算案を承認。

2 賛助会講習会「設計事務所・工務店のための税務及びマイナンバー講習会」【資料 3】

- ・専務理事より 50 名程度を目標としたいが、1 週間前の時点で 22 名の申込みに留まっている旨の報告あり。総務企画委員会としても参加勧誘に努めることとした。
- ・当日の会場設営、受付、司会進行、挨拶等の各委員役割分担を決め、事務局負担の軽減に努めることとした。

3 平成 28 年度総会終了後の懇親会等の企画について【資料 4】

- ・専務理事より、H27 年度総会懇親会の式次第をもとに、5/31 総会の来賓の範囲、講演会抱き合わせの可否等の論点を説明。

(質疑)

(副委員長) ・ご挨拶はいただかないとしても、横浜以外の政令市 2 市もお招きした方がいいと思う。→ 一同異議なし

・総会が 14:00~16:00 の 2 時間で確実に終了する見込みがあるのか。講師や来賓をお待たせするリスクを考えると、講演会の抱き合わせは難しい気がする。

(委員) ・昨年度の総会は順調だったが、1 去年は時間オーバーしてしまった。

(副委員長) ・総会前に講演会を行う手もある。その場合、住宅・建築系の著名人をお招きできれば、全員とはいかなくても総会まで参加してくれる会員が増えるのでは？

(委員) ・士会の公益団体としての存在意義をアピールする意味では、建築士に求められるコンプライアンスといった講演テーマも考えられる。

(副委員長) ・興味深いテーマだが、あまり固すぎると集客には逆効果の恐れも。

(委員長) ・次回の 4 月委員会でも間に合うようだから、各委員で案を出してほしい。

(玉野委員) ・講演会以外にも、賛助会員コーナーの設置等を考えてはいかがか。

<報告事項>

(委員) ・建築コンクール入賞作品の見学会が 3/24 に予定されているが、まだ空きがある。ふるって参加のほど。

<その他>

1 次回の委員会について

平成 28 年 4 月 19 日(火)18:00~。

以上